

白馬村高齢者福祉計画について

1 計画策定の趣旨

高齢化社会の進行に伴い、介護に対する不安と負担を、社会全体で支え合うしくみとして、介護保険制度が導入されすでに 15 年が経過しました。この間、高齢化は更に進み、介護保険サービスの熟成とともに、一人暮らしや高齢者世帯の増加、医療費の増加などに対応し社会保障制度を存続可能とするための方策として、市町村が中心となり地域包括ケアシステム構築の取り組みが必要であると、平成 26 年 6 月介護保険法改正による基本方針で示されました。

そのため、今回策定する「白馬村高齢者福祉計画」は、75 歳以上が最も増えるといわれている 2025 年（平成 37 年）にむけて、白馬村ならではの高齢者等を取り巻く状況や課題を整理、推測し、地域包括ケアシステムの構築および、介護保険制度の持続可能な地域に向けて、この時期にすべき基本的な政策目標、重点的な取り組み事項を定め、取り組む施策について明らかにするものです。

2 計画の位置づけ

- ◆老人福祉法第 20 条の 8 に規定する「市町村老人福祉計画」と介護保険法 117 条に規定する「介護保険事業計画」を一体的に策定するため、北アルプス広域連合が定める第 6 期介護保険事業計画と整合を図り策定します。
- ◆白馬村第 4 次総合計画後期計画を上位計画とし、保健分野は平成 25 年 3 月に策定された「白馬村健康増進計画」福祉分野は「白馬村障害計画 障害者福祉計画」と整合性を図り策定します。

3 計画期間

この計画は、平成 27 年度を初年度として平成 29 年度を目標年度とする 3 カ年計画とします。

4 計画の策定体制

計画の策定にあたっては、福祉・医療関係者や公募による住民代表等で構成する「白馬村社会福祉推進委員会」を設置し、その個別計画の一つに位置付けられる「白馬村高齢者福祉計画策定委員会」として、高齢者を取り巻く状況や課題を踏まえつつ、取り組むべき施策を明らかにした計画を策定します。

5 高齢者福祉計画の骨格

総 論

1 計画の概要

計画策定の趣旨、計画の位置づけ、法令の根拠、計画の期間、他計画との関係、日常生活圏域の設定、策定の経緯と体制

2 現状と将来の見通し

人口構造、高齢者、要介護認定者等の現状と推移、高齢者福祉事業等の実施状況現状と課題

3 基本理念、および基本目標、重点取組課題の設定

各 論

1 高齢者福祉サービスと地域包括ケアシステム構築に関する取り組み

生きがいづくり、健康づくり、介護予防、リハビリテーション、医療、生活支援サービス、住まい、権利擁護、認知症に対する取り組み

2 介護保険サービスの適切な運営に関する取り組み

3 各サービス量の目標値の設定と評価

6 計画策定のスケジュール

	策定委員会	内 容
2月3日	第1回策定委員会	現計画の検証と高齢者の現状について 高齢者実態調査結果の報告 計画策定方針とスケジュールについて
3月2日	第2回策定委員会	計画骨子の検討 計画目標の設定 計画案の検討
3月中旬	第3回策定委員会	計画案の検討とまとめ